



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 図研

コード番号 6947 URL <http://www.zuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 真人

問合せ先責任者 (役職名) 財務部統括マネージャー

(氏名) 吉田 勸

TEL 045-942-1511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,479	8.3	△37	—	48	—	△87	—
26年3月期第2四半期	8,755	7.5	△172	—	△86	—	△98	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 10百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△3.77	—
26年3月期第2四半期	△4.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年3月期第2四半期	38,461		27,666		70.9
26年3月期	38,846		27,680		70.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 27,282百万円 26年3月期 27,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	12.8	1,600	153.9	1,670	96.9	1,170	150.5	50.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	23,267,169 株	26年3月期	23,267,169 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	15,383 株	26年3月期	14,869 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	23,251,986 株	26年3月期2Q	23,252,833 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売及び受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の経済環境につきましては、米国やわが国では緩やかな回復基調が継続しているものの、欧州での財政不安や中国における経済成長の鈍化など、全体としては先行きの不透明な状況で推移いたしました。当社グループの主要なお客さまであるエレクトロニクス製造業や自動車関連製造業、産業機器製造業におきましては、業績回復の動きは見られるものの、設備投資には慎重な姿勢が続いております。

このような中であって、当第2四半期の売上高は、9億4千79百万円（前年同期比8.3%増）と前年同期を上回る結果となりました。これは、最新の電気設計システム「CR-8000/Design Force」の販売が引き続き好調に推移し、基板設計ソリューションの売上が増加したことや、データ管理システム「DS-2」の売上が伸長したことなどにより、ITソリューションの売上が前年同期を大きく上回ったことによるものです。

利益面につきましては、今後の収益拡大に向けた投資の一環として、欧米において組織体制を強化していることなどから経費が増加したものの、売上が増加したことにより経常利益4千8百万円（前年同期 経常損失8千6百万円）、四半期純損失8千7百万円（前年同期 四半期純損失9千8百万円）と改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前期末より3億8千4百万円減少して38億4千6百万円となりました。

流動資産は受取手形及び売掛金が1億9千8百万円減少し、有価証券が1億5千2百万円増加したことなどから、1億7千2百万円減少いたしました。固定資産は無形固定資産がのれんの償却などにより8千9百万円、投資その他の資産が繰延税金資産の減少などにより1億1千1百万円それぞれ減少したことなどから、2億1千2百万円減少いたしました。

負債の合計は、前期末より3億7千1百万円減少して10億7千9百万円となりました。流動負債は買掛金が9千万円、未払法人税等が1億6千5百万円それぞれ減少し、前受金が2億6百万円増加したことなどから、1億5百万円減少いたしました。固定負債は期間帰属方法を変更したことに伴う退職給付に係る負債の減少などにより、2億6千6百万円減少いたしました。

純資産は、前期末より1千3百万円減少して27億6千6百万円となり、自己資本比率は70.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月7日公表の通期の業績予想につきましては、現時点におきまして変更はありません。なお、当社グループのお客さまには事業年度を4月から3月までとしている企業が多く、当社製品の導入・検収が年度の区切りである3月に集中する傾向があります。そのため、当社グループにおきましては、業績に時期的な偏りが生じ、売上高、利益とも第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が223,232千円減少し、利益剰余金が143,761千円増加しております。また、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,071,935	4,584,745
受取手形及び売掛金	4,895,506	3,596,507
有価証券	16,188,534	17,341,027
商品及び製品	176,908	226,256
仕掛品	49,974	167,575
原材料及び貯蔵品	1,993	4,344
その他	1,862,036	2,143,893
貸倒引当金	△30,879	△20,723
流動資産合計	28,216,009	28,043,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,147,830	3,114,419
土地	3,009,821	3,009,821
その他(純額)	421,854	443,071
有形固定資産合計	6,579,505	6,567,312
無形固定資産		
のれん	997,450	933,328
その他	758,818	733,692
無形固定資産合計	1,756,268	1,667,020
投資その他の資産	2,294,393	2,183,322
固定資産合計	10,630,168	10,417,655
資産合計	38,846,177	38,461,282

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	705,940	615,751
未払法人税等	315,777	150,623
前受金	3,530,050	3,736,639
賞与引当金	661,002	727,274
役員賞与引当金	18,062	—
その他の引当金	13,877	12,789
その他	1,350,462	1,246,774
流動負債合計	6,595,173	6,489,853
固定負債		
退職給付に係る負債	4,370,781	4,110,052
その他	200,067	194,547
固定負債合計	4,570,848	4,304,600
負債合計	11,166,021	10,794,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,117,065	10,117,065
資本剰余金	8,657,753	8,657,753
利益剰余金	8,986,688	8,880,115
自己株式	△13,209	△13,682
株主資本合計	27,748,297	27,641,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,521	390,367
為替換算調整勘定	210,057	137,259
退職給付に係る調整累計額	△982,326	△885,990
その他の包括利益累計額合計	△453,747	△358,363
少数株主持分	385,606	383,940
純資産合計	27,680,156	27,666,828
負債純資産合計	38,846,177	38,461,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,755,311	9,479,078
売上原価	2,186,107	2,513,253
売上総利益	6,569,203	6,965,824
販売費及び一般管理費	6,741,206	7,003,086
営業損失(△)	△172,002	△37,261
営業外収益		
受取利息	9,723	10,049
為替差益	29,573	11,361
負ののれん償却額	25,117	12,558
受取賃貸料	21,047	24,026
助成金収入	1,298	22,531
その他	15,860	23,151
営業外収益合計	102,621	103,679
営業外費用		
持分法による投資損失	8,827	17,319
投資事業組合運用損	5,327	—
その他	2,850	842
営業外費用合計	17,004	18,162
経常利益又は経常損失(△)	△86,385	48,255
特別利益		
固定資産売却益	489	148
権利譲渡収入	73,824	—
役員退職慰労金返還額	9,670	—
投資有価証券売却益	1,875	—
特別利益合計	85,858	148
特別損失		
固定資産処分損	5,469	2,014
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	4,800
特別損失合計	5,469	6,814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,996	41,588
法人税、住民税及び事業税	86,349	156,867
法人税等調整額	25,040	△30,194
法人税等合計	111,390	126,672
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117,386	△85,084
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18,514	2,484
四半期純損失(△)	△98,872	△87,568

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117,386	△85,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,790	71,845
為替換算調整勘定	128,153	△71,439
退職給付に係る調整額	—	96,335
持分法適用会社に対する持分相当額	7,463	△1,357
その他の包括利益合計	115,826	95,384
四半期包括利益	△1,560	10,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,096	7,815
少数株主に係る四半期包括利益	△18,656	2,484

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,996	41,588
減価償却費	359,764	370,566
売上債権の増減額(△は増加)	1,261,324	1,305,892
仕入債務の増減額(△は減少)	△523,227	△172,477
退職給付引当金の増減額(△は減少)	213,239	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	125,790
その他	△308,909	△270,332
小計	996,195	1,401,028
利息及び配当金の受取額	11,691	17,844
利息の支払額	—	△42
法人税等の支払額	△104,368	△299,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	903,518	1,119,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△131,700	99,100
有価証券の取得による支出	△1,999,140	△1,999,900
有価証券の償還による収入	2,000,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△135,337	△142,329
無形固定資産の取得による支出	△136,378	△181,421
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,715	16,000
その他	31,473	2,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361,367	△206,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△162,770	△162,766
その他	△7,698	△10,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,468	△173,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	167,543	12,755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	539,226	752,639
現金及び現金同等物の期首残高	11,766,640	12,306,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,305,867	13,059,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	米国	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,968,288	1,799,614	419,992	567,416	8,755,311	—	8,755,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	351,125	293,246	24,251	40,368	708,992	△708,992	—
計	6,319,414	2,092,860	444,244	607,785	9,464,304	△708,992	8,755,311
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△86,067	△136,734	△105,302	165,209	△162,894	△9,107	△172,002

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△9,107千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	米国	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,510,839	1,959,544	505,763	502,930	9,479,078	—	9,479,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	374,739	320,934	25,969	32,565	754,208	△754,208	—
計	6,885,578	2,280,478	531,732	535,496	10,233,286	△754,208	9,479,078
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	176,506	△275,086	△82,120	145,531	△35,169	△2,092	△37,261

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△2,092千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの実態に即した、より適切な経営情報の開示を行うため区分を変更しております。

従来は「日本」、「欧米」及び「アジア」の3区分を報告セグメントとしておりましたが、ドイツ現地法人の管理体制下にあります米国現地法人を独立させ、「日本」、「欧州」、「米国」及び「アジア」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 販売及び受注の状況

① 売上高

(単位：千円)

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	金額	構成比率(%)	金額	構成比率(%)
日 本	5,968,288	68.2	6,510,839	68.7
欧 州	1,799,614	20.6	1,959,544	20.7
米 国	419,992	4.8	505,763	5.3
ア ジ ア	567,416	6.4	502,930	5.3
合 計	8,755,311	100.0	9,479,078	100.0

② 受注高及び受注残高

(単位：千円)

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日 本	7,153,280	5,388,680	7,748,741	5,620,074
欧 州	1,393,151	811,216	1,499,763	1,013,349
米 国	461,071	580,688	325,216	526,311
ア ジ ア	543,922	277,550	750,050	483,788
合 計	9,551,426	7,058,135	10,323,772	7,643,523

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。

(参考) 製品区分別実績は次のとおりであります。

① 売上高

(単位：千円)

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	金額	構成比率 (%)	金額	構成比率 (%)
基板設計ソリューション	1,306,967	14.9	1,458,018	15.4
回路設計・ICソリューション	2,098,033	24.0	1,925,768	20.3
ITソリューション	1,484,355	17.0	1,972,377	20.8
クライアントサービス	3,863,140	44.1	4,120,221	43.5
その他	2,815	0.0	2,691	0.0
合計	8,755,311	100.0	9,479,078	100.0

② 受注高及び受注残高

(単位：千円)

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
基板設計ソリューション	1,566,746	676,948	1,502,913	740,604
回路設計・ICソリューション	2,083,343	790,091	2,040,999	777,226
ITソリューション	2,008,445	1,213,174	2,534,366	1,078,111
クライアントサービス	3,890,055	4,376,521	4,241,566	5,046,345
その他	2,835	1,400	3,926	1,235
合計	9,551,426	7,058,135	10,323,772	7,643,523

(注) 1. 金額は販売価格によっており、消費税等を含んでおりません。

2. 各製品区分に含まれる主な製品の名称は次のとおりであります。

基板設計ソリューションの主な製品	CR-8000/Design Force CR-5000/Board Designer CR-8000/DFM Center
回路設計・ICソリューションの主な製品	CR-8000/Design Gateway CR-5000/System Designer CR-8000/System Planner E3. series Cabling Designer
ITソリューションの主な製品	プリサイト ビジュアル ボム PreSight/visual BOM DS-2